

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1組～7組：寺沢）

使用教科書：（教育出版：音楽 I Tutti+）

教科 芸術 の目標：生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに豊かな情操を養う。

【知識及び技能】 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な要素を身につけ表現する知識及び技能を身につける。	音楽を形づくっている要素を知覚し、音楽のよさや美しさについて自ら味わい鑑賞し、表現する。	主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
<b>1学期</b> 単元 ・ヴォイスパーカッション ・校歌 ・平易な合唱曲 ・楽典 ・日本音楽史 ・ギター 【知識及び技能】 音に対する自己のイメージを豊かにしたり、音楽を幅広く様々な視点からとらえようとする態度を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 楽器の奏法を身につけるとともに技能の習熟度に応じて楽曲演奏ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広く様々な視点からとらえようとする態度を養う。	・指導事項 声を用いたアンサンブル活動を通して、仲間づくりをする。また、基礎的な楽典を学び音楽の能力を高める。 ※歌唱については、新型コロナウイルス感染防止のため実施できない可能性があります。 ・教材 教科書 ワークシート ギター 等	○	○	○	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 音色・リズム・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら音楽をどのようにつくるかについて表現意図を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	22	
<b>2学期</b> 単元 ・世界の音楽について ・歌曲 ・楽典 ・アンサンブル ・ギター（コード） ・発表会 【知識及び技能】 世界の様々な音楽から音楽表現の多様性を捉えるとともに、音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら楽曲演奏ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の音楽表現に共感をしながら自己の音楽表現を工夫する手立てを学ぶ。	・指導事項 1学期の基礎学習を基に発展的な活動をする。 2学期の最後には、授業内発表会を行う。 ※歌唱については、新型コロナウイルス感染防止のため実施できない可能性があります。 ・教材 教科書 ワークシート 楽器 等	○	○	○	【知識・技能】 曲想と音楽の構造、文化的・歴史背景、生活や社会との関りを音楽の歴史的な流れから理解している。 【思考・判断・表現】 音色・リズム・旋律・テクスチャ・強弱・構成を知覚し、どのように演奏をするかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	30	
<b>3学期</b> 単元 合唱 【知識及び技能】 自己のイメージをもって歌唱表現を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 混声合唱の響きを味わい、作曲者のコンセプトを理解しながら歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の音楽表現を創意工夫しながら合唱活動の楽しさを味わう。	・指導事項 合唱コンクールに向けて取り組む ※歌唱については、新型コロナウイルス感染防止のため実施できない可能性があります。 ・教材 教科書 ワークシート キーボード 等	○	○	○	【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 音色・速度・旋律・テクスチャ・強弱を知覚し、それらの働きを感じながら近くしたことと感受したこととの関りについて考えるとともに、表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18	
合計										70



年間授業計画

雪谷 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：青木豊）（2組：熊谷倫子）（3組：青木豊）（4組：青木豊）（5組：青木豊）（6組：青木豊）

使用教科書：（光村図書 書 I）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】古典、古筆等の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。

【学びに向かう力、人間性等】漢字の書体の変遷や仮名、漢字仮名交じり書の成立、その背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・知識 【表現】古典・古筆等の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【鑑賞】線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・技能 古典・古筆等に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	【表現】古典・古筆等の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【鑑賞】古典・古筆等の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	【表現】主体的に書道の幅広い表現の学習活動に取り組む。 【鑑賞】主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 【表現】古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【鑑賞】線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 【鑑賞】古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 【鑑賞】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 [楷書] 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭義下碑 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 ・教材 光村図書 書 I	○	○		【知識及び技能】 ・知識 【表現】古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [評価方法] 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。	○	○	○	22	

2 学 期	<p>○単元 漢字の書</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識</li> </ul> <p>〔表現〕 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解させる。</p> <p>〔鑑賞〕 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能</li> </ul> <p>古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>〔表現〕 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <p>〔鑑賞〕 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>〔表現〕 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔鑑賞〕 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> </ul> <p>〔行書〕</p> <p>蘭亭序 争座位文稿 蜀素帖 風信帖</p> <p>〔草書〕</p> <p>真草千字文</p> <p>〔隸書〕</p> <p>曹全碑</p> <p>〔篆書〕</p> <p>泰山刻石</p> <p>上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。</p> <p>〔創作〕</p> <p>これまで学んだ書体・書風を生かし、生徒各自が選んだ漢文(熟語等も含む)を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> </ul> <p>光村図書 書 I</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識</li> </ul> <p>〔表現〕 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>〔鑑賞〕 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能</li> </ul> <p>古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>〔表現〕 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <p>〔鑑賞〕 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>〔表現〕 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔鑑賞〕 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔評価方法〕</p> <p>【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。</p>	○	○	20
	<p>○単元 仮名の書</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識</li> </ul> <p>〔表現〕 線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。</p> <p>〔鑑賞〕 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能</li> </ul> <p>仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>〔表現〕 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。</p> <p>〔鑑賞〕 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>〔表現〕 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。</p> <p>〔鑑賞〕 主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> </ul> <p>仮名の成立と種類についての説明。時代背景等、特徴的な筆遣いを理解させる。仮名の基本的な筆遣い(横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど)を指導。</p> <p>平仮名・変体仮名の指導。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> </ul> <p>光村図書 書 I</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識</li> </ul> <p>〔表現〕 線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>〔鑑賞〕 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能</li> </ul> <p>仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>〔表現〕 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <p>〔鑑賞〕 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>〔表現〕 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔鑑賞〕 主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔評価方法〕</p> <p>【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。</p>	○	○	10

